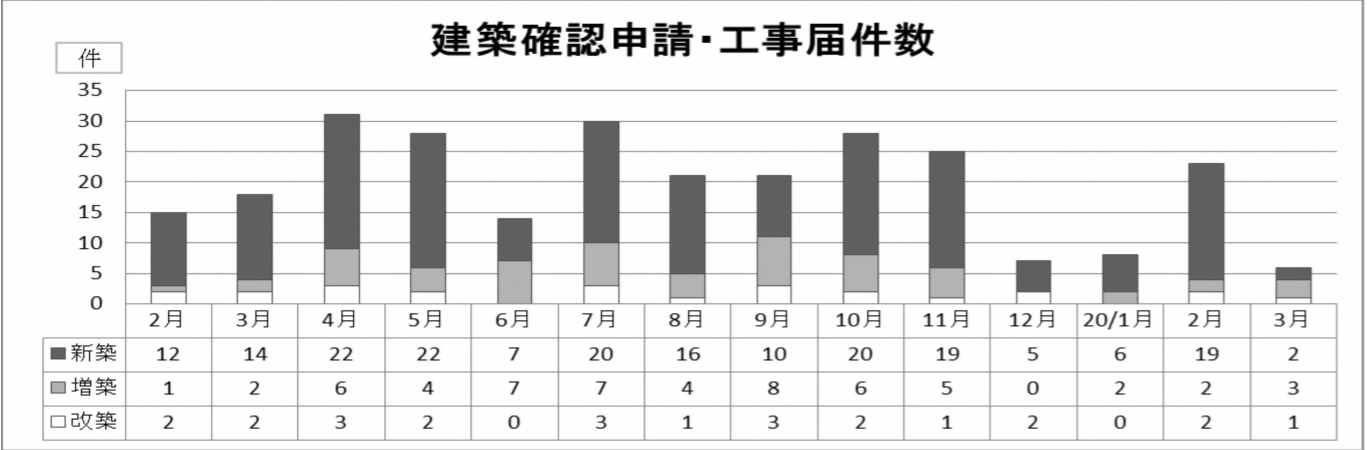
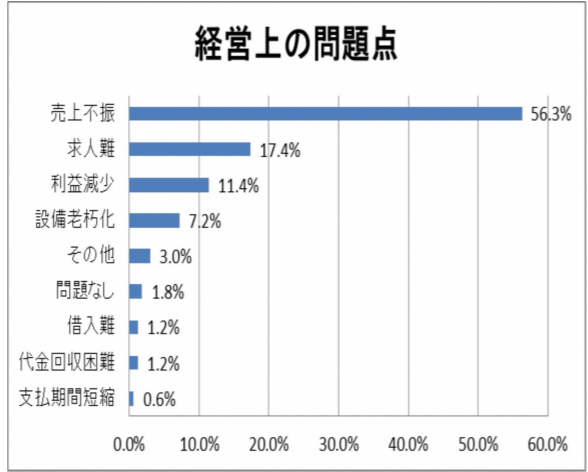
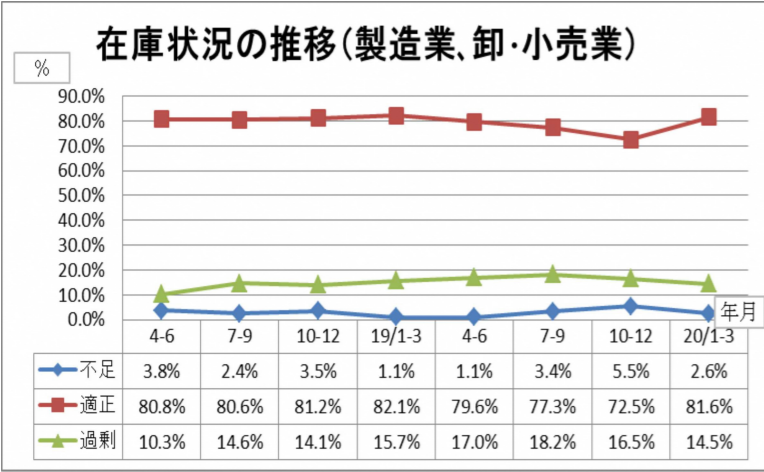


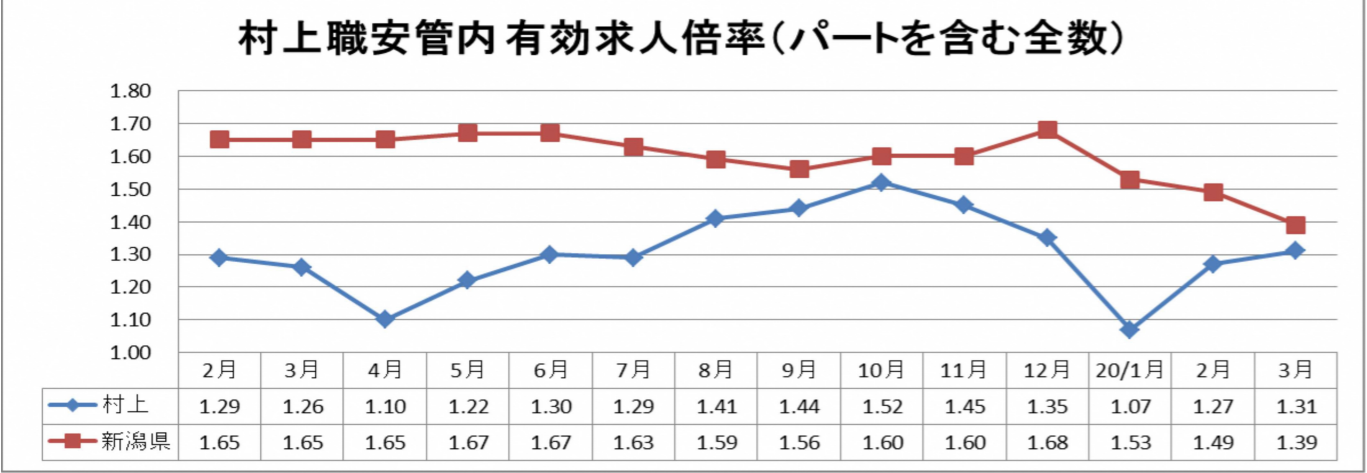
# 村上市 景況調査報告

〈令和2年1～3月期の実績と令和2年4～6月期の見通し〉

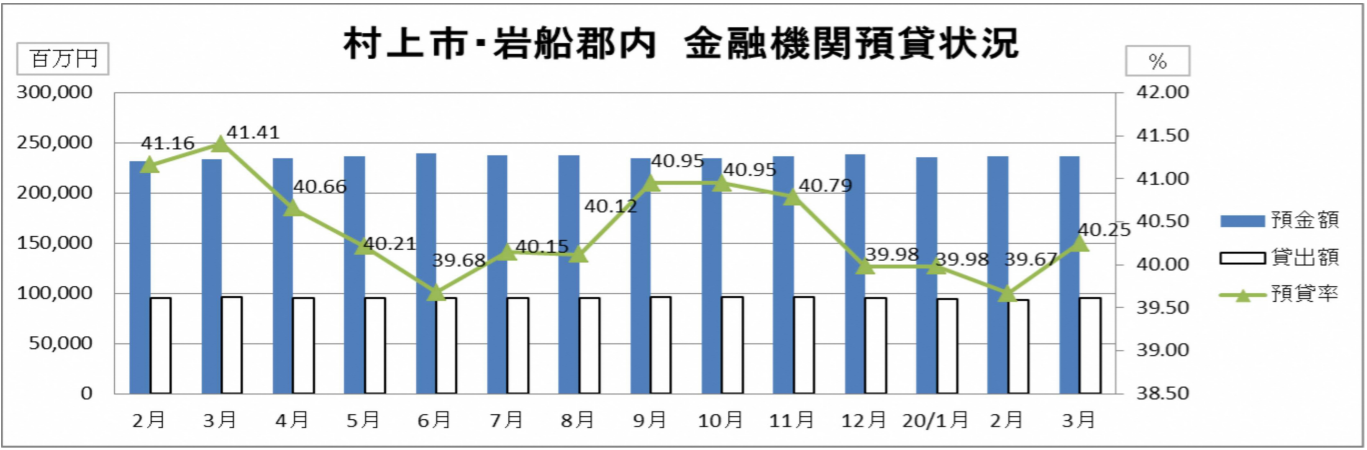
## 『新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に下押しされ、厳しい状況』



※本データは、新築・増築・改築の申請があった建築確認申請(民間受付含む)と工事届の合算となります



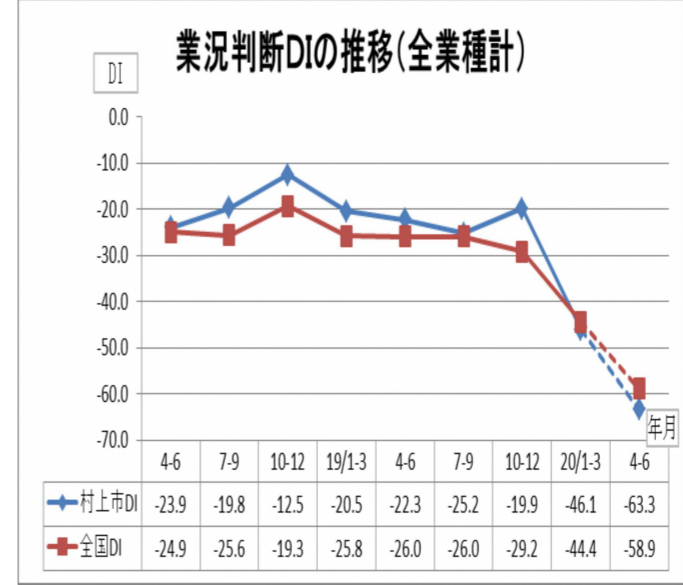
※上記有効求人倍率は、季節調整値再計算により改訂した数値を記載しています。



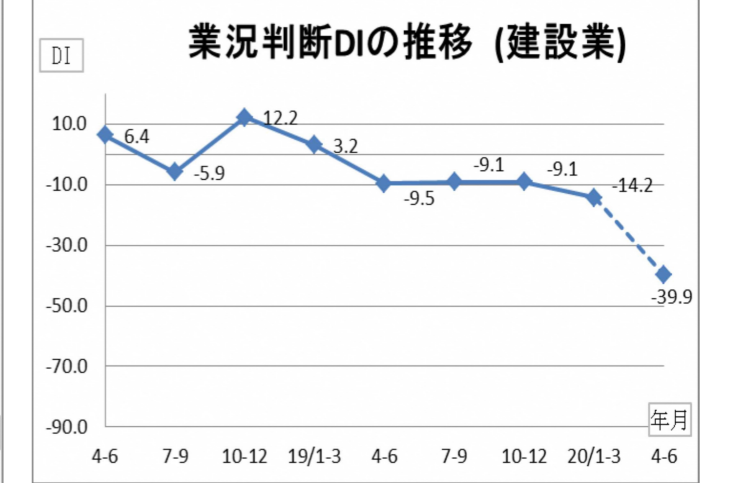
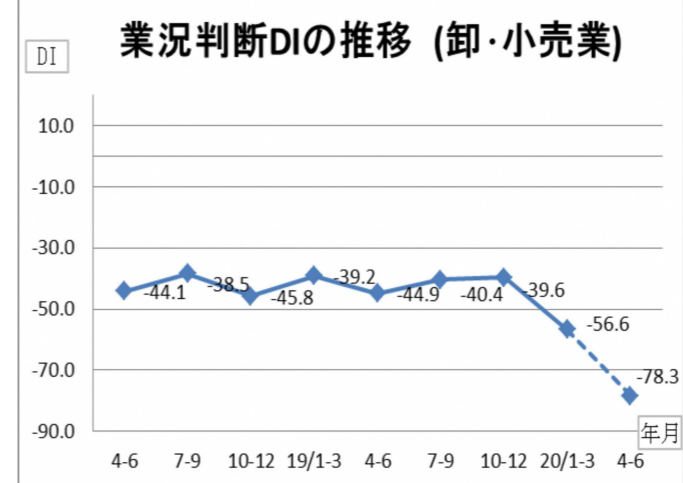
調査時期	2020年3月中旬～2020年4月上旬
調査対象	村上市内事業所200社 有効回答数：169社(回収率84.5%) [業種] 卸売・小売業62社、建設業41社、製造業30社、飲食・宿泊業21社、サービス業46社 [地区] 村上地区104社、荒川地区33社、神林地区21社、朝日地区19社、山北地区23社
実施機関	村上市地域経済振興課 村上商工会議所、荒川商工会、神林商工会、朝日商工会、山北商工会
分析機関	村上商工会議所
参考資料	全国中小企業動向調査(小企業編)結果/日本政策金融公庫 (全国DI) <2020.1～3実績、2020.4～6見通し>

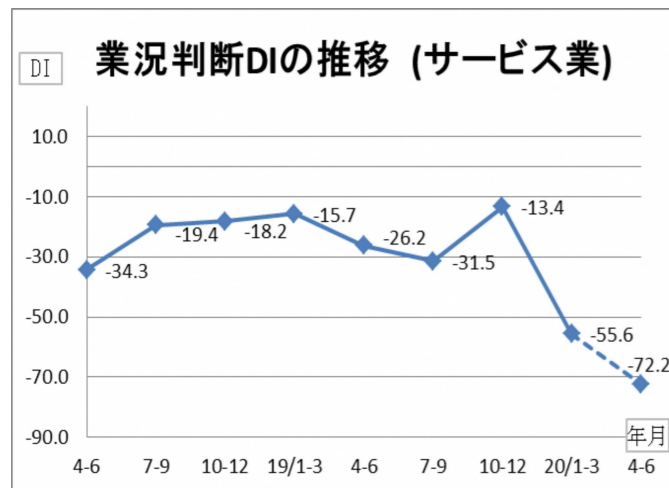
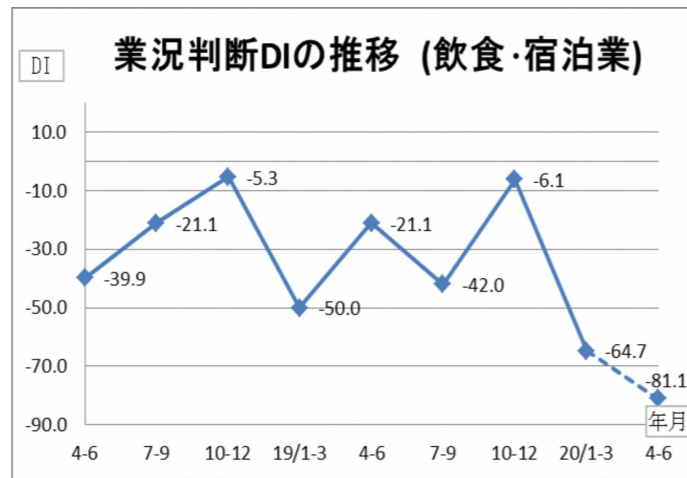
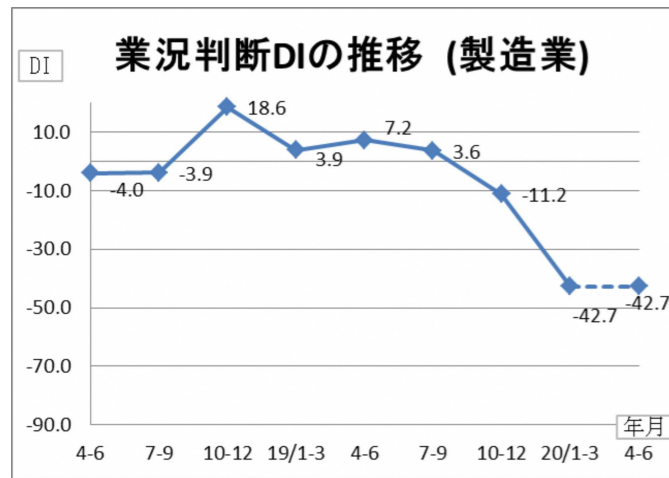
DI値(景況判断指数)=[増加・好転などの回答割合]-[減少・悪化などの回答割合]  
(※売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味着)

### ■村上市の業況

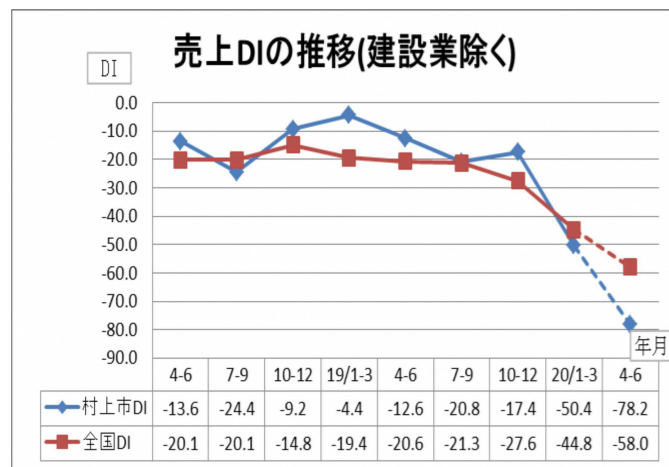


今期(20/1～3月期)の業況判断DI(全業種計)は、前期(19/10～12月期)と比べ、26.2ポイント低下し、▲46.1となった。前期における今期予測より10.4ポイント下回り、前年同期比でも25.6ポイント下回った。全国DIでも15.2ポイント低下し、▲44.4となった。  
新型コロナウイルスの影響は非常に大きく、全業種でDIが低下し、全体のDIを押し下げる結果となった。  
来期(20/4～6月期)についても、17.2ポイント低下して▲63.3となる見通しで、製造業を除く全業種で悪化が見込まれている。  
全国DIも14.5ポイント低下し、▲58.9となる見通し。

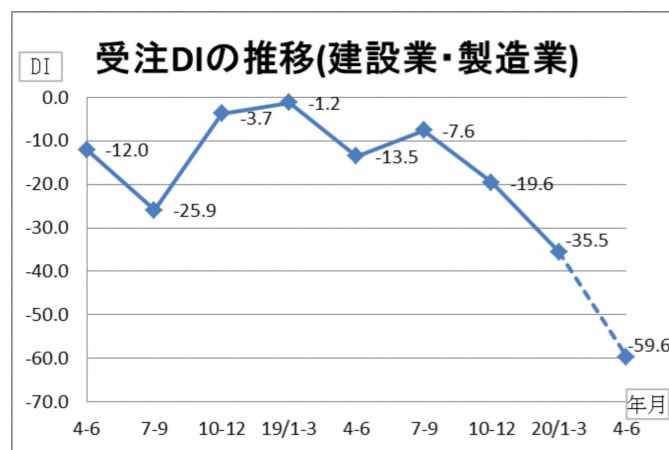




今期の業種別の動向は、卸・小売業では、イベント等の中止による大幅な売上減少。緊急事態宣言を受けて人の動きがない。建設業は、前期の少雪に引き続き、今期は新型コロナウイルスの影響で中国から部材が入らないなどが影響大。製造業は、休校による給食納入停止や印刷物のキャンセルなどの影響が多い。飲食店・宿泊業は、3月に入り団体予約等のキャンセルが相次ぎ売上は激減。サービス業は、売上減少でさらに代金回収が遅い。人と接触する業務が多い業種であり、自店から感染者が発生することへの風評被害を懸念する、などの声がある。来期においては、全ての業種において先行きが見通せず、悪化する見通し。

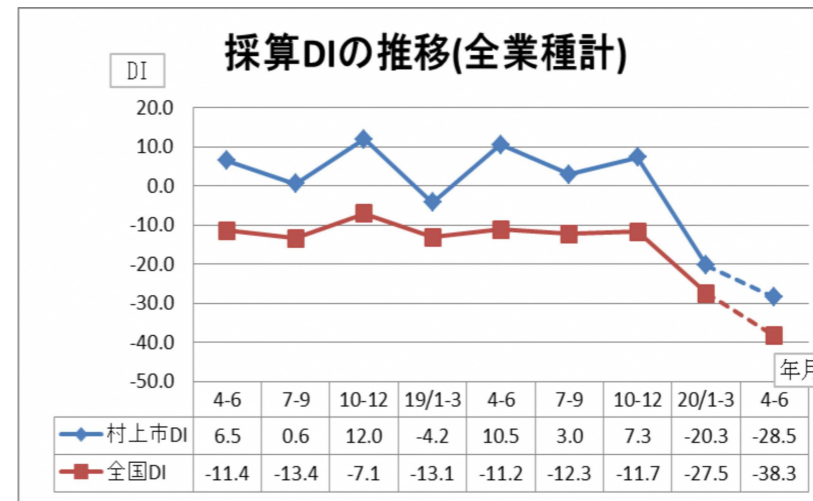


今期の売上DI(建設業除く)は、前期に比べ33.0%下降し、▲50.4となった。前期における今期予測よりも12.2%下回ったが、前年同期比でも46.0%下回った。全国DIは、前期に比べ17.2%低下し▲44.8となった。来期については、27.8%低下し▲78.2となる見通し。全国DIも、更に13.2%低下し、▲58.0となる模様。

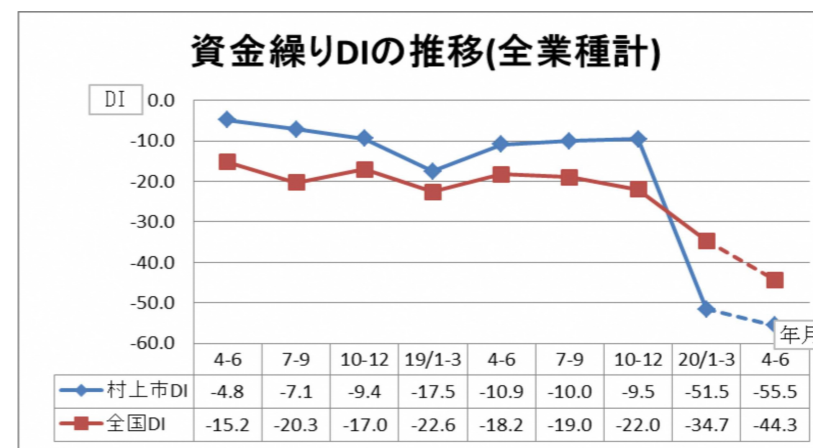


今期の受注DI(建設・製造業)は、前期比で15.9%低下し▲35.5となった。前期における今期予測よりも9.4%上回ったが、前年同期比では34.3%下回った。来期については、更に24.1%低下し▲59.6となる模様。

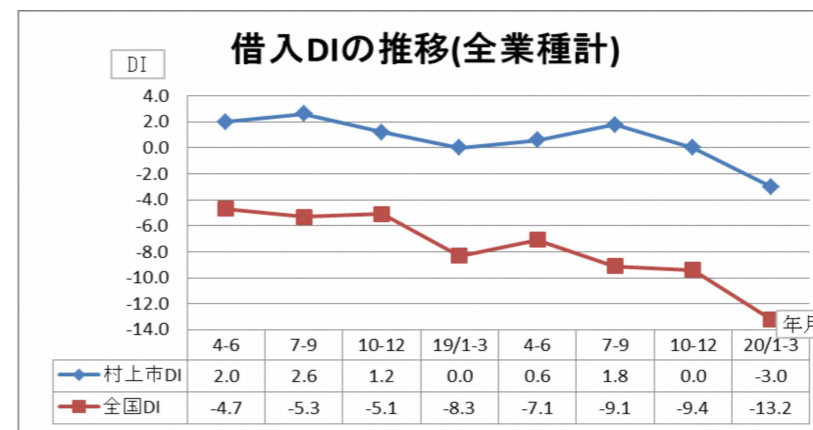
受注DI内訳	前期	今期	来期
・建設業	▲8.9	▲20.0	▲51.4
・製造業	▲26.9	▲55.6	▲70.4



今期の採算DI(全業種計)は前期比27.6%の低下し▲20.3となった。前期における今期予測より1.6%上回ったが、前年同期比では16.1%下回った。全国DIは15.8%低下し、▲27.5となった。来期については、8.2%低下し▲28.5となる見通し。全国DIも10.8%低下し、▲38.3となる見通しである。

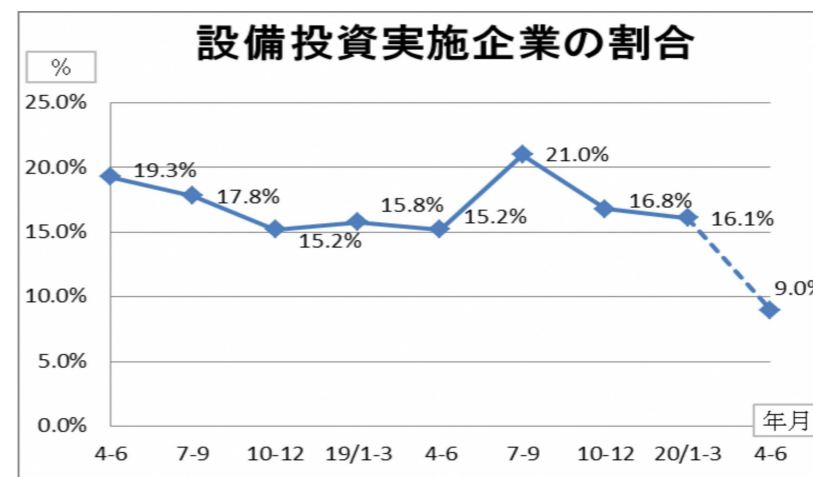


今期の資金繰りDI(全業種計)は前期比42.0%の低下し▲51.5となった。前期における今期予測より26.7%下回り、前年同期比でも34.0%下回った。全国DIは12.7%低下し、▲34.7となった。来期については、4.0%低下し▲55.5となる見通し。全国DIも9.6%低下し、▲44.3となる見通しである。



今期の借入DI(全業種計)は、前期と比べ、3.0%低下し、▲3.0となった。低下は2期連続。

借入DI内訳	前期	今期
・容易になった	3.0% → 3.0%	
・変わらない	39.1% → 39.2%	
・難しくなった	3.0% → 6.0%	



全業種における今期に設備投資した企業の割合は、前期と比べ、0.7%低下し、16.1%となった。しかし前年同期比では1.3%上回った。来期に設備投資を予定している企業の割合は、7.1%低下し9.0%となる見通しである。